

水路用L型ブロック

(プレキャストL型水路)

特 長

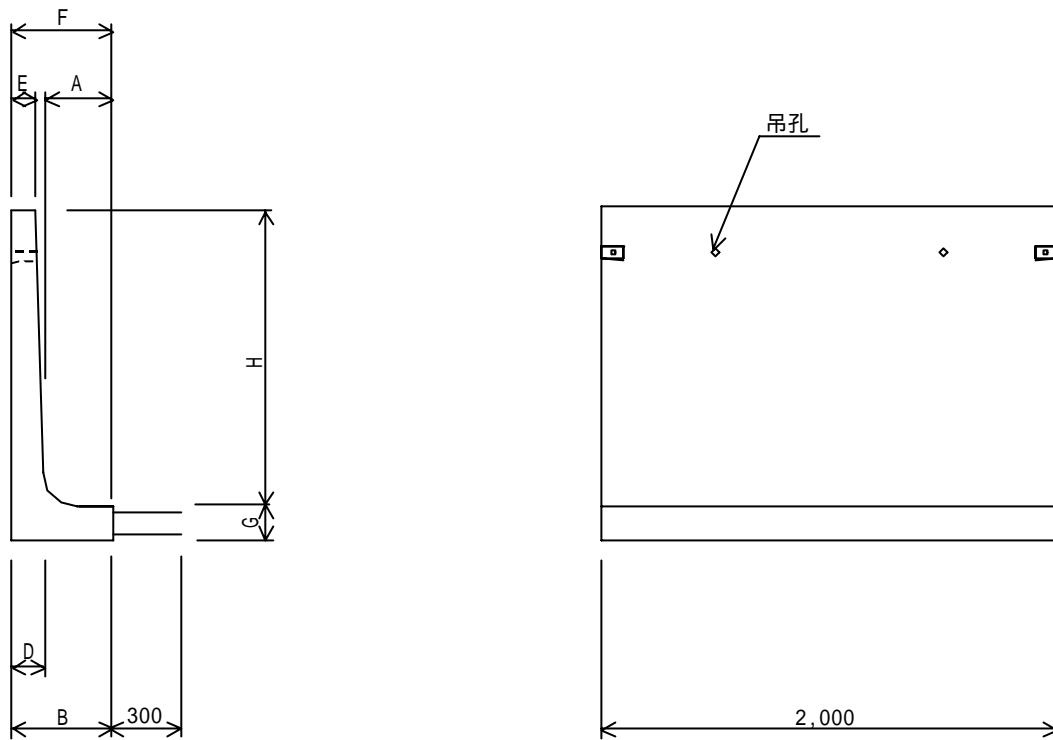
底部を現場打ちコンクリートで処理することにより、水路幅が自由にとれます。
水路の深さは1mから1.6mまで10cmきざみでとれるようなサイズ構成です。
水路の一方に概設構造物がある場合等、片側施工も可能です。
両岸の壁の高さを違って施工することもできます。
載荷重・設計条件により特殊品(規格外品)も設計いたします。
現場打ちに比べてスピーディな施工ができるので、工費が削減できます。
使いやすい連結手金具で延長方向に完全に一体化します。
逆向きに使えばL型擁壁にも使用できます。(別途設計計算いたします)

製 品 形 状

大型水路に最適。プレキャスト水路用L型の決定版です。

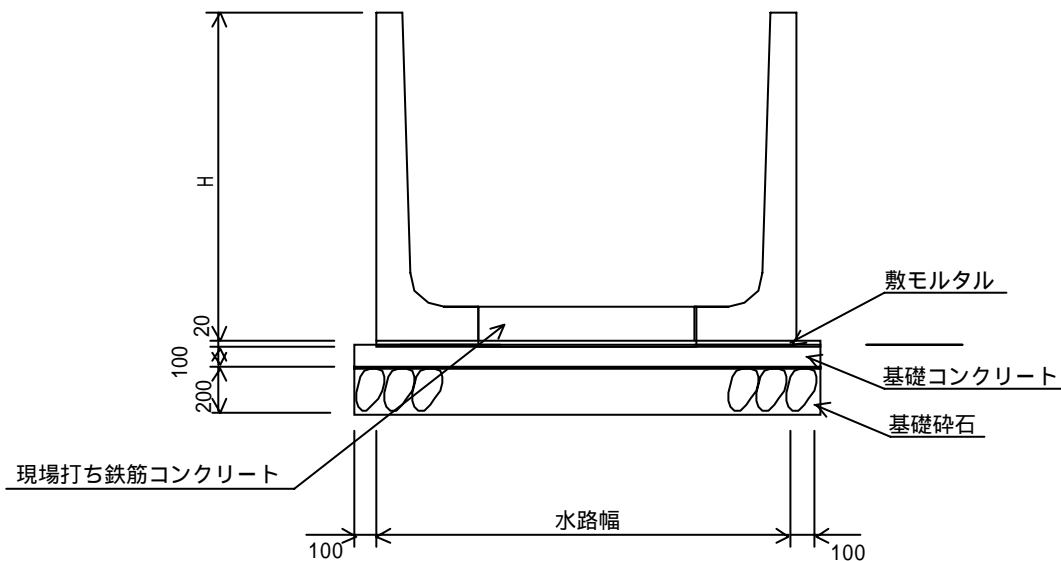
**施 工 例**

形状寸法



規格	各寸法(単位mm)							製品 質量 (kg)	主筋		配力筋		側壁内側		底版内側		ハンチ		底版外側			
	A	B	D	E	F	G	H		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
	径	本	径	本	径	本	径		本	径	本	径	本	径	本	径	本	径	本	径	本	
1000×2000	300	450	150	119	450	150	1000	983	D10	11	D10	10	D6	15	D6	10	D6	10	D10	6	D10	11
1100×2000	300	450	150	116	450	150	1100	1040	D10	11	D10	10	D6	15	D6	10	D6	10	D10	6	D10	11
1200×2000	300	450	150	113	450	150	1200	1095	D10	11	D10	10	D6	13	D6	10	D6	10	D10	6	D10	11
1300×2000	300	450	150	109	450	150	1300	1146	D10	11	D10	10	D6	15	D6	10	D6	10	D10	6	D10	11
1400×2000	300	450	150	106	450	150	1400	1198	D10	11	D10	10	D6	15	D6	10	D6	10	D10	6	D10	11
1500×2000	300	450	150	103	450	150	1500	1248	D10	11	D10	10	D6	15	D6	10	D6	10	D10	6	D10	11
1600×2000	300	450	150	100	450	150	1600	1298	D10	11	D10	10	D6	13	D6	10	D6	10	D10	6	D10	11

標準断面図



鉄筋径	9	13	D10	D13	D16
突出し長さ	70以上	90以上	70以上	90以上	140以上

施 工 手 順

1. 基礎工

基礎材(敷栗石、目潰し砂利等)を所定の高さに平坦に仕上げてください。

基礎工型枠を組立てコンクリートを打設します。

基礎コンクリートの設計基準強度は $18\text{N}/\text{mm}^2$ 以上としてください。

基礎コンクリートは、所定厚まで定規で敷き均し、木ゴテ等で表面を仕上げ、適切な養生を行ってください。

2. ブロック据付け

製品の据付を正確に行うため、据付用遣り方を、10m 程度の間隔で設置してください。

ブロックの貫通穴に吊り金具を通しブロックを据付けていきます。

連結金具にてブロック間を連結します。

3. 底版鉄筋の組立て

鉄筋は鉄筋間隔と継手長に注意し正確に配置してください。

4. 底版部のコンクリート打設

底版部にコンクリートを打設します。

5. 完 成

全 景



完 成



ブロック据付



底版鉄筋の組立て



底版部のコンクリート打設



完 成

構造特性

設計条件

L型水路ブロックは下記の諸条件を基に設計しております。特に各現場毎に条件が異なる場合が多いので特殊寸法(カタログ寸法以外のもの)・荷重条件につきましては下記の条件に準じてご用命下さいますようお願いいたします。

水路内断面寸法(内幅、内高)

設計荷重

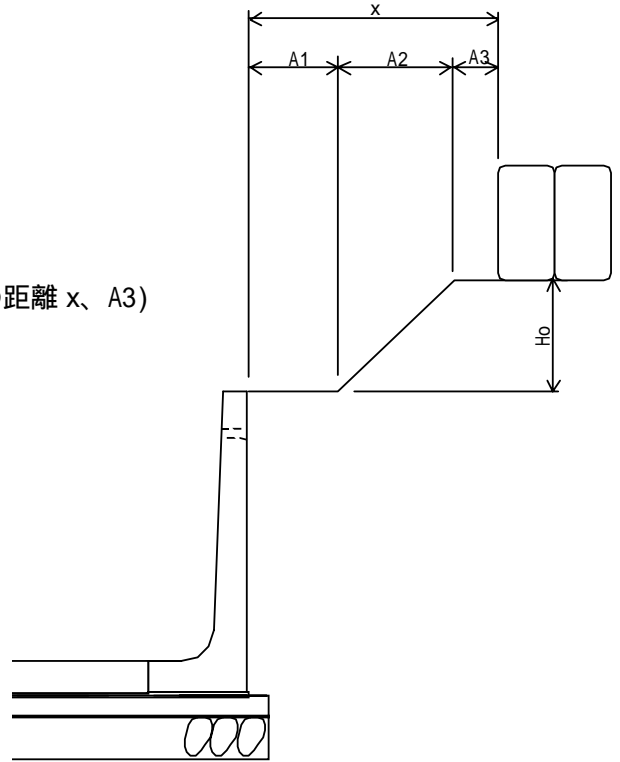
盛土荷重 (盛土高 H_0 、盛土形状 A1、A2)

活荷重 (輪荷重及び群集荷重、活荷重までの距離 x 、A3)

土質条件

土のせん断抵抗角

土の単位体積重量 s



なお、当社作成の設計計算書は「農林水産省構造改善局 土地改良事業標準設計」に準拠し設計しております。

歩掛り

(1日当り)

1個当たり長さ (mm)			2000	
1個当たり質量 (kg/個)			750以上～1000以下	1000以上～1500以下
名	称	単位		
1日	当りの施工量	個	30	28
世	話役	人	1.0	1.0
特	殊作業員	人	1.0	1.0
普	通作業員	人	3.5	3.5
ト	ラッククレーン 運転	日	1.0	1.0
接	合材比率	%	1.0	1.0

- (注)1. 本歩掛は、運搬距離20m程度までの小運搬を含む据付作業であり、床掘、基礎(敷コンクリート、基礎碎石)、底部コンクリート打設は含まない。
 2. トラッククレーンは賃料とし、油圧式4.8～4.9t吊を選定する。
 3. 接合にモルタルを使用する場合は、接合材料費として労務費の合計金額に上表の率を乗じた金額を計上する。なお、モルタル以外の接合材を使用する場合は、材料費のみ別途計上する。
 4. 敷モルタル及び敷モルタル以外の据付調整材を使用する場合は、材料費のみ別途計上する。